



From *Miscellaneous Writings, 1883-1896*, pp. 249-250, by Mary Baker Eddy

## 愛

### Love

それは、何という言葉であろう！ 私はこの言葉に深い畏敬の念を覚える。この言葉は、何と広大な世界にひろがり、君臨していることであろう！ 何か他から由来したものではなく、比類のない、無限にして**全て**なる善、この唯一なる**神**のみが、**愛**である。

この最高のものが、その性質において、また実体において、最も誤用されているとは、一体どのような邪悪によるのであろうか。人間は、愛情を誤り伝えて、間違っただけのものをその名で呼ぶ。彼らは、愛情でないものを愛情とし、愛情であるものを疑う。世間一般の愛情が、その犠牲となるべき者を追い求めるのは、肉屋が、屠殺のために子羊を太らせるようなものである。低級な性癖が表現するものは、情操によって抑制されるべきである。ほかのどんな言葉も、これほど意味を取り違えられている言葉はない。ほかのどんな情操も、これほど理解されていないものはない。**愛**の神性な意義は歪められて、さまざまな人間的性質に変えられ、人間が放っておくために、ねたみと憎しみに変わる。

**愛**とは、ふだんは棚の上に片付けられ、ごくまれに角砂糖ばさみなどでつままれて、バラの葉の上に載せられるようなものではない。私は、愛に厳しく要求する。そして、愛を証

他の日本語記事については、次をご覧ください：<http://www.christian-science-sakigake.com>

© 2011 The Christian Science Publishing Society (CSPS)  
この記事は、50部までプリントアウトして、非営利として実費で提供することができます。この記事を手紙（email）で送ったり、ウェブサイトに載せたりすることはできません。代わりに、CSPSのウェブサイトに掲載されているこの記事へのリンクを、メールしたり、ウェブサイトに載せたりしてください。この記事を手紙に転載する許可を得るには、[copyright@csp.com](mailto:copyright@csp.com)宛に、メールをお送りください。件名は、英語で "Copyright Request" としてください。

明する有効な証拠を求め、愛の働きの結果としての気高い犠牲と立派な功績を求める。それらが現れなければ、本物の響きを持たない金属ごときのまがい物や模造品として、この言葉を排斥する。愛は単なる抽象的な概念や、活動や力を伴わない善意ではあり得ない。人間の一つの特質である、愛情のもつ輝かしい意義は、言葉では表し尽くせないものである。それは人目につかないところで行われる心優しい無私の行いであり、無言の絶え間ない祈りであり、そして、自分の利益を求めない無私の心が溢れ出ることであり、そっと横手の扉から人目につかぬようにして心優しい行いをするために出かけてゆくベールを被った人影であり、歩道を軽やかに歩む小さな足であり、欠乏とか、悲嘆、病気や悲しみに向かって扉を開ける優しい手である。このようにして、それは、地上の暗い場所を明るく照らすのである。

メリー・ベーカー・エディ / Mary Baker Eddy

© 1998 The Christian Science Board of Directors

From *Miscellaneous Writings, 1883-1896*, pp. 249-250, by Mary Baker Eddy

## LOVE

What a word! I am in awe before it. Over what worlds on worlds it hath range and is sovereign! the underived, the incomparable, the infinite All of good, the *alone* God, is Love.

By what strange perversity is the best become the most abused, — either as a quality or as an entity? Mortals misrepresent and miscall affection; they make it what it is not, and doubt what it is. The so-called affection pursuing its victim is a butcher fattening the lamb to slay it. What the lower propensities express, should be repressed by the sentiments. No word is more misconstrued; no sentiment less understood. The divine significance of Love is distorted into human qualities, which in their human abandon become jealousy and hate.

Love is not something put upon a shelf, to be taken down on rare occasions with sugar-tongs and laid on a rose-leaf. I make strong demands on love, call for active witnesses to prove it, and noble sacrifices and grand achievements as its results. Unless these appear, I cast aside the word as a sham and counterfeit, having no ring of the true metal. Love cannot be a mere abstraction, or goodness without activity and power. As a human quality, the glorious significance of affection is more than words: it is the tender, unselfish deed done in secret; the silent, ceaseless prayer; the self-forgetful heart that overflows; the veiled form stealing on an errand of mercy, out of a side door; the little feet tripping along the sidewalk; the gentle hand opening the door that turns toward want and woe, sickness and sorrow, and thus lighting the dark places of earth.

Courtesy of The Mary Baker Eddy Collection